

摂南大学 農学部 開設記念 シンポジウム「食と農の未来を考える」を開催 ～基調講演のテーマは「島耕作から見る日本の未来」～

摂南大学（大阪府寝屋川市、学長：八木紀一郎、以下本学）は、農学部開設の記念として10月19日（土）にシンポジウム「食と農の未来を考える」を開催いたします。



世界では、2050年に人口が96億人に達し、それに伴う食糧危機が懸念されています。また、世界における食関連市場の拡大、海外における日本食への関心の高まりなど、今後も食のグローバル化は進んでいくと予想されます。一方で国内では、食料の安定供給の確保、農業の持続的な発展、農村の振興などが叫ばれており、ロボットやICTを活用した「スマート農業」の開発が進んでいます。

これらの社会背景をテーマに本シンポジウムでは、代表作「島耕作」シリーズ作者 弘兼 憲史 氏や日本農学会会長で石川県立大学学長の西澤 直子 氏を招いて基調講演を行います。また、後半では、様々なゲストを招いたパネルディスカッションも行う予定です。

摂南大学 農学部 開設記念シンポジウム開催概要

名 称 : 摂南大学 農学部 開設記念シンポジウム「食と農の未来を考える」
主 催 : 摂南大学
日 時 : 2019年10月19日（土）13:30～17:00
会 場 : OIT 梅田タワー（大阪工業大学梅田キャンパス）常翔ホール
入 場 料 : 無料

基調講演 内容

タイトル : 島耕作から見る日本の未来
講師 : 代表作「島耕作」シリーズ作者 弘兼 憲史 氏

タイトル : SDGsを超える農学の可能性
講師 : 日本農学会 会長、石川県立大学 学長 西澤 直子 氏

時間	内容・テーマ	講演者等
13:00～	受付開始	
13:30～13:35	主催者挨拶	
13:35～14:35	基調講演① 「島耕作から見る日本の未来」	弘兼 憲史 氏 (漫画家 代表作「島耕作」シリーズの作者)
14:35～15:15	基調講演② 「SDG s を超える農学の可能性」	西澤 直子 氏 日本農学会 会長、石川県立大学 学長
15:15～15:30	休憩	
15:30～17:00	パネルディスカッション	【パネリスト】 西澤 直子 氏 (日本農学会 会長、石川県立大学 学長) 中島 隆 氏 (農研機構 本部 企画戦略本部長) 稲熊 隆博 氏 (信州大学 農学部 特任教授) 三原 洋一 氏 (NKアグリ株式会社 代表取締役社長) 【コーディネーター】 久保 康之 氏 (京都府立大学 教授、摂南大学 客員教授)

摂南大学について

社会や時代のニーズに応えるべく、グローバルな視点で「食」と「農」に関する知識・技能を持ち、社会課題の発見とその解決に取り組む人材の養成を目指し、2020年4月枚方キャンパスに農学部を開設します。大阪府内では唯一の農学部となります。

農業生産学科、応用生物科学科、食品栄養学科（管理栄養士養成課程[予定]）、食農ビジネス学科（文系学科）の4学科で構成し、入学定員は340名となります。各学科の専門領域を深く学ぶとともに「食」と「農」に関わる一連のプロセスを体系的に学ぶカリキュラムにより、すべての学科において、「農業生産」「環境・生態系」「バイオ技術」「産業創生」「食の安全・安心」「医療・健康」「国際協力支援」「豊かな持続可能社会」などの幅広い農学の知識・技能を身につけた人材を養成します。